

ケリ（チドリ科） 全長 36 センチ

毎年8月下旬になると、ケリの群れが飛来する地域があります。

大区画田んぼが整然と広がる、神宮寺の下川原農道周辺。今年この区域でケリが繁殖した形跡はなく、どこかほかの場所で繁殖し、幼鳥と一緒にやってきたものでしょう。

10羽から20羽ほどがこの田んぼに集結して、ミミズなどの餌を漁っている。5年前までは数家族のケリがここで繁殖していたが、今はまったく見られなくなっています。



田んぼの上を飛ぶケリの白黒パターンが鮮やか。

ヒナが成長したこの時期をもって、数家族が下川原に集結したのです。なぜこの場所に集まるのかは分かりません。なにか惹きつけるものがあるのでしょうか。

9月に入ると、青かった田んぼが一気に黄金色に染め上げられました。この広い田んぼの上をケリの群れが飛び交う様子は、いつ見ても感動します。



地上では警戒をしながら餌探しに夢中でした。



はっきりとした羽であるが、地上に降りると殆ど目立ちません。

やがて刈り取りの季節に入ると、大型コンバインが登場してくるでしょう。
この頃を契機に、南の越冬地を目指して故郷を離れる渡りが始まります。



羽を伸ばした時と比べると、違いがはっきり。



仲間の下へ降り立つ。